

No.	自作教材・教具名	使用場面等
	<b>バッティングマシーン</b>	保健体育
ねらい	・バッティングマシーンを使い、上肢や手指を動かしてボールを打つことができる。	
教材の概要		
		
<p>&lt;規格&gt;縦 5 cm × 横 80 cm × 高さ(使用する台の高さ) cm</p>		
<p>&lt;材料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル、台など(バッティングマシーンを固定するもの。高さの調整ができるのが良い)、棒、輪ゴム、S字フック、リング、持ち手付き洗濯ばさみ(止める力が弱めもの)、クランプ、大型クリップ、大型クリップと棒を固定する留め具(ねじ)、バッティングティー、ボール</li> </ul> <p>&lt;作り方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒の端にある穴を利用して、留め具やねじを使って棒を台に固定する。</li> <li>・クランプとS字フックに輪ゴムを引っ掛ける。</li> </ul> <p>&lt;使い方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棒を直接握って手前に引っ張って放す、又は棒に持ち手付き洗濯ばさみを付け、持ち手を手前に引っ張って放すことで、棒をボールに当てて飛ばす。</li> </ul>		
工夫点・おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪ゴムの張力を利用して、棒や棒に付けた持ち手を引っ張って放すことで、棒をボールに当てて飛ばすことができる。</li> <li>・生徒の実態に合わせてボールを打ち出す強さを輪ゴムの本数で調整できる。</li> <li>・高さの調整が可能な台を使用すれば、生徒が使いやすい高さに合わせて取り組める。</li> </ul>	
参考文献・Web		